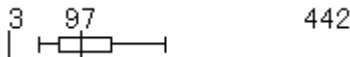
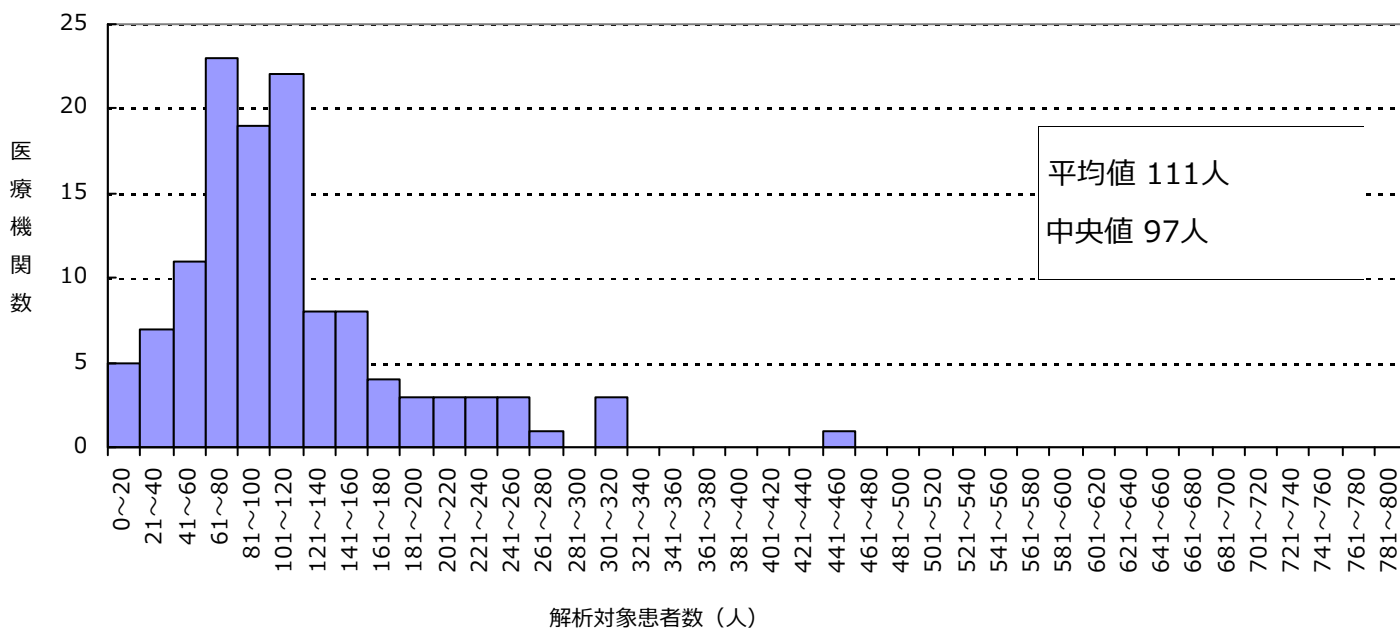


公開情報 2022年1月～6月 半期報
院内感染対策サーベイランス 集中治療室部門

1. 集中治療室入室患者数*

集中治療室(ICU)入室患者数	解析対象患者数 †	1医療機関あたりの解析対象患者数(平均値) ‡	集計対象医療機関の解析対象患者数の分布
42,253	13,737	111	

集計対象医療機関の解析対象患者数の分布 (N=124)



* ICU入室患者は熱傷患者を除く

† 解析対象患者はICU入室日数が3日以上ICU入室患者で、同一患者が同一月内に複数回入室した場合は1と数える

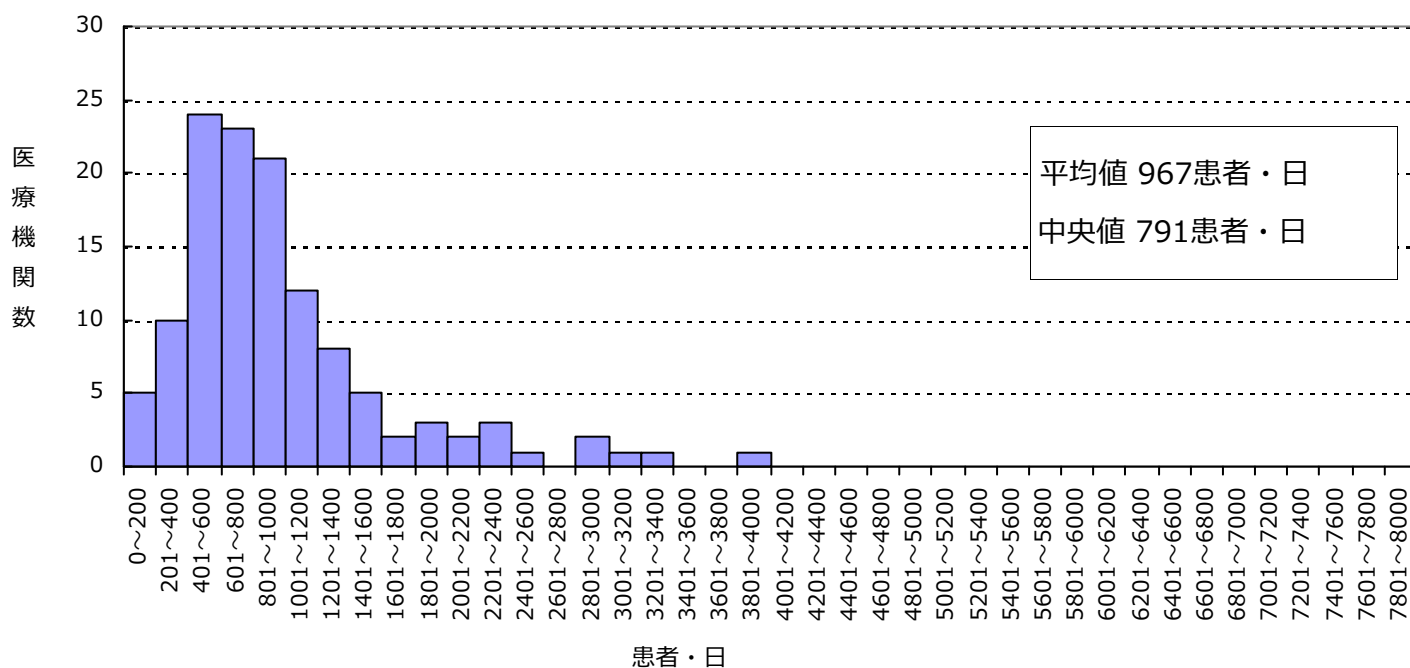
‡ 1医療機関あたりの解析対象患者数 (平均値)

= (集計対象医療機関の解析対象患者数合計) ÷ (集計対象医療機関数 (ヒストグラムタイトル末尾のNの数))

2. 解析対象患者の患者・日

集計対象医療機関患者・日合計	1医療機関あたりの患者・日（平均値）*	集計対象医療機関の患者・日の分布
119,911	967	

集計対象医療機関の解析対象患者の患者・日分布 (N=124)



* 1医療機関あたりの患者・日（平均値）
=（集計対象医療機関の患者・日合計）÷（集計対象医療機関数（ヒストグラムタイトル末尾のNの数））

3. 感染症発生率*

人工呼吸器関連肺炎

	集計対象医療機関の 感染症発生件数合計	全体の感染症発生率† (/1000患者・日)	集計対象医療機関の感染症発生率 (/1000患者・日)の分布
2022年 上期	163	1.4	 17.7
2021年 下期	276	1.8	 30.3
2021年 上期	193	1.6	 25.9

尿路感染症

	集計対象医療機関の 感染症発生件数合計	全体の感染症発生率† (/1000患者・日)	集計対象医療機関の感染症発生率 (/1000患者・日)の分布
2022年 上期	66	0.6	 12.5
2021年 下期	71	0.5	 5.3
2021年 上期	78	0.6	 9.4

カテーテル関連血流感染症

	集計対象医療機関の 感染症発生件数合計	全体の感染症発生率† (/1000患者・日)	集計対象医療機関の感染症発生率 (/1000患者・日)の分布
2022年 上期	75	0.6	 4.2
2021年 下期	119	0.8	 5.8
2021年 上期	77	0.6	 4.3

* 感染症発生率 = (解析対象患者の感染症発生件数) ÷ (解析対象患者のICU入室日数) × 1000

† 全体の感染症発生率 = (集計対象医療機関の解析対象患者の感染症発生件数合計)
÷ (集計対象医療機関の解析対象患者のICU入室日数合計) × 1000

4-1. 感染症別原因菌（人工呼吸器関連肺炎）

分離割合順	2021年 上期 菌名 分離菌数* (分離割合)	2021年 下期 菌名 分離菌数* (分離割合)	2022年 上期 菌名 分離菌数* (分離割合)
1	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> 46 (17.8%)	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> 65 (17.3%)	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> 32 (14.3%)
2	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA) 35 (13.6%)	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA) 49 (13.0%)	<i>Stenotrophomonas maltophilia</i> 23 (10.3%)
3	<i>Klebsiella pneumoniae</i> 19 (7.4%)	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA) 36 (9.6%)	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA) 16 (7.2%)
4	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA) 19 (7.4%)	<i>Klebsiella pneumoniae</i> 32 (8.5%)	<i>Klebsiella pneumoniae</i> 15 (6.7%)
5	<i>Stenotrophomonas maltophilia</i> 13 (5.0%)	<i>Stenotrophomonas maltophilia</i> 23 (6.1%)	<i>Candida albicans</i> 14 (6.3%)
その他の分離菌	126 (48.8%)	171 (45.5%)	121 (54.3%)
菌分離なし	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)
合計	258 (100.0%)	376 (100.0%)	223 (100.0%)
培養検査なし	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)

原因菌は、上位5菌種を表示。

菌名は菌名コード (<https://janis.mhlw.go.jp/section/icu.html#code>) に準拠

* 個々の感染症において複数の原因菌が報告されている例があるため、感染症発生病数合計と同数にはならない

4-2. 感染症別原因菌（尿路感染症）

分離割合順	2021年 上期 菌名 分離菌数* (分離割合)	2021年 下期 菌名 分離菌数* (分離割合)	2022年 上期 菌名 分離菌数* (分離割合)
1	<i>Escherichia coli</i> 32 (37.6%)	<i>Escherichia coli</i> 28 (34.6%)	<i>Escherichia coli</i> 23 (27.1%)
2	<i>Enterococcus faecalis</i> 8 (9.4%)	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> 13 (16.0%)	<i>Enterococcus faecalis</i> 12 (14.1%)
3	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> 8 (9.4%)	<i>Klebsiella pneumoniae</i> 9 (11.1%)	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> 9 (10.6%)
4	<i>Klebsiella pneumoniae</i> 7 (8.2%)	<i>Enterococcus faecalis</i> 6 (7.4%)	<i>Klebsiella pneumoniae</i> 6 (7.1%)
5	<i>Candida albicans</i> 5 (5.9%)	<i>Candida albicans</i> 4 (4.9%)	<i>Proteus mirabilis</i> 5 (5.9%)
その他の分離菌	23 (27.1%)	20 (24.7%)	29 (34.1%)
菌分離なし	2 (2.4%)	1 (1.2%)	1 (1.2%)
合計	85 (100.0%)	81 (100.0%)	85 (100.0%)
培養検査なし	2 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.0%)

原因菌は、上位5菌種を表示。

菌名は菌名コード (<https://janis.mhlw.go.jp/section/icu.html#code>) に準拠

* 個々の感染症において複数の原因菌が報告されている例があるため、感染症発生病数合計と同数にはならない

4-3. 感染症別原因菌（カテーテル関連血流感染症）

分離割合順	2021年 上期 菌名 分離菌数* (分離割合)	2021年 下期 菌名 分離菌数* (分離割合)	2022年 上期 菌名 分離菌数* (分離割合)
1	<i>Staphylococcus epidermidis</i> 17 (18.5%)	<i>Staphylococcus epidermidis</i> 19 (14.2%)	<i>Staphylococcus epidermidis</i> 13 (16.5%)
2	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> 15 (16.3%)	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> 11 (8.2%)	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA) 9 (11.4%)
3	<i>Candida albicans</i> 7 (7.6%)	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA) 11 (8.2%)	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA) 7 (8.9%)
4	<i>Corynebacterium</i> sp. 6 (6.5%)	<i>Enterobacter cloacae</i> 9 (6.7%)	<i>Corynebacterium</i> sp. 6 (7.6%)
5	<i>Serratia marcescens</i> 6 (6.5%)	<i>Candida albicans</i> 8 (6.0%)	<i>Stenotrophomonas maltophilia</i> 5 (6.3%)
その他の分離菌	41 (44.6%)	76 (56.7%)	39 (49.4%)
菌分離なし	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	92 (100.0%)	134 (100.0%)	79 (100.0%)
培養検査なし	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

原因菌は、上位5菌種を表示。

菌名は菌名コード (<https://janis.mhlw.go.jp/section/icu.html#code>) に準拠

* 個々の感染症において複数の原因菌が報告されている例があるため、感染症発生病数合計と同数にはならない